

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とは、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。						
重点項目	I 学習指導の充実 II 進路指導の充実 III 心豊かでさわやかな生徒の育成 IV 広報・渉外活動の充実 V 教育施設・設備の活用			年間自己評価		年間学校関係者評価	
重点目標	項目	令和4年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標【 】は数値的目標	令和3年度実施結果 (成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	評価	教員コメント (69名) (評価理由・意見・改善内容・提案等)	評価	学校関係者評価委員コメント (7名) (評価理由・意見・改善内容・提案等)
Ⅰ 学習指導の充実	授業改善への取り組み	<p>①生徒の意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)95%】</p> <p>【授業満足度(生徒)と自己考査(教員)を年2回実施(予定)】</p> <p>②普通科と英数科、各クラス間、各教員間の指導の格差を改善し、指導を共通化する</p> <p>③定期テスト後に教科会議を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う</p> <p>④各教科、テーマを設定した研究授業を行う</p>	<p>①◇授業満足度調査を2回実施し、【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)】は94.9%と、ほぼ目標の数値となったが、授業満足度調査の教員へのフィードバックが不十分であり、自己考査(教員)も行えなかった。</p> <p>②◇英数科と普通科の指導の共通化が進められているが、クラス間や教員間の指導の格差がまだまだ大きい。更に改善が必要である。</p> <p>③○教科会議を毎週行える状況(時間割)があり、指導の改善のための教科会議が実施されている。</p> <p>④◇研究授業が充分には実施されなかった。</p>	<p>A 25%</p> <p>B 59%</p> <p>C 15%</p> <p>D 1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートを実施し、改善点がある場合、授業の工夫に努めている。</li> <li>個人としては大学の講義で使用されるような専門書を読み、知識の研鑽に務めた。</li> <li>教科会議等を通して教員同士で話し合い授業をよりよくするように取り組めた。</li> <li>教科間での風通しが良くなってきている。</li> <li>授業数が多いので余裕がない部分が多い。</li> <li>一部の先生方は、教材研究をまともにやっていない。研修が必要である。</li> <li>普通科・英数科の指導の共通化という課題も残るが、進学校として授業内容や授業進度について意識が低下している。</li> <li>普通科でも総合選抜試験では様々な知識が必要とされているが、指定校や学校推薦型、さらには部活動関係で進路が決定するという意識からか、何としても授業を進めていこうという意識が薄い。大学進学後にも基礎知識不足で生徒が困らないか心配になる。</li> <li>教員間に大きな差があると思われる。精力的・意欲的に取り組む先生もいれば、特に興味のない先生もおられる。</li> <li>授業に興味を持たせるよう、積極的に生徒に発言させ主体性を持たせた。</li> <li>普通科の部活動有効欠席者へのケアが不十分。</li> <li>授業の持ちコマ数が多すぎて教材研究の時間が取れない。担任と副担任で仕事の量が変わるはずであるのになぜ考慮されないのか不思議である。また、授業改善が必要であっても部活動の指導ばかりに手をかけるのは違うのではないか。</li> <li>若手教員に対する授業スキル向上の研修がされていない。</li> <li>普通科には普通科の、英数科には英数科のやり方がある。しかし、入学時から継続して学習に取り組ませる指導は両科ともした方が良い。</li> <li>担当に任せになっている。</li> <li>個々の教員の授業準備、授業展開にかなりの問題がある。授業準備も YouTube のみを見て準備している教員がいる。また、指導書のみを鵜呑みにし、その通りの授業しかできない教員もいた。授業準備は一朝一夕にできるものではない。多くの書籍を渉猟し、知識を多く蓄え授業に臨むべきである。</li> <li>新任教員等の授業力の向上が必要である。教科内での研修や授業見学等、学校全体として促進していくことが先決。</li> <li>授業ができない、若しくはしない教員が一定数いる。指導が必要ではないか。</li> <li>教員自身が自らを省みることなく、生徒のせいにして自分は努力しないだけでは飽き足らず、職員室内で平気で生徒の悪口を言っている教員がいる。非常に不快である。</li> <li>教科会議を通じた学年共通の教科指導内容の計画が十分にされていない。各学年が別個に教科指導している。バラバラ感が否めない。</li> <li>授業ではなくおしゃべりの時間になっている授業がある。教員の授業スキルと意識改革が必須。</li> <li>定期テストの監督の仕方が分かっていない教員が多い。管理職による毎回の見回りが必要。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を立て、それを生徒に伝えながら授業を行う先生の授業は分かりやすかった(進み具合、どこをやるか)。また、凝ったプリントを作成していただき、分かりやすかった。</li> <li>テスト範囲がギリギリに終わることがあり、テスト準備(勉強)が大変だった。</li> <li>クラスによって進み具合がかなり違う。</li> <li>緻密な計画を基に指導されていると思う。これからは期待したい(生徒本人の努力はもとより)。</li> <li>やはり毎日の授業は大切なので、教員自身も生徒と一緒に、全力で授業という時間を作り上げること、生徒と教員の本気の時間(授業)を作るために、若い先生方の授業力を向上させる研修が必要だと思う。</li> <li>学校全体として、教員の質の向上、自己研鑽に努めていただきたい。</li> <li>役割に対する考え方の違いから、他の教員に対しての不満の声が多く見られる。人材不足の時代であり、SNSなどを活用した転職が増えていることから、優良教員の離職による学習指導に充実へのリスクを感じている。管理職以上のメンバーによる対応策の検討が必要かと考えている。</li> <li>①多面評価による職員(個々の教員)課題の見える化</li> <li>②学年別での教育指導上の課題に関する研修会</li> <li>授業満足度調査をより活用し、先生方に十分に授業改善に取り組んでいただきたい。</li> <li>教科担当によって差が生じないよう教科会議を行うなどされているが、学校全体で、生徒・教員間でより改善に努めていただきたい。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導</p>	<p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る</p> <p>【9時まで学習参加率 65%以上目標】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う</p> <p>【英検 2 級 250 名以上、準 1 級 20 名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う</p> <p>【論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する</p> <p>⑦大学入試に対応した問題を定期テストに導入する</p> <p>⑧庭学習を充実させるため、インターネットを利用した授業配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p> <p>⑨ICT を利用したオンライン授業(双方向授業)が実施できるように環境を整備し、オンライン授業実施に備える</p>	<p>①◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった。</p> <p>○例年以上に職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。</p> <p>○「9時まで学習」の参加率は、69%で前年度の 61%より増加した。特に今年度は国語・数学において特別補講を実施したことも参加者増の要因だと考えられる。</p> <p>②○各教科・各学年において、きめ細かな指導が実践された。各教科では、同学年の各科・各コースの担当者間での連携が取れていた。また『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が各クラスで実施された。</p> <p>③○【英検 2 級取得者数 263 名、準 1 級取得者数 19 名】ほぼ目標の数値となり、1 級合格者もあり、英語の学力が全体に底上げされていると考えられる。</p> <p>④○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑤◇ドリーム・ゲイトウェイプログラムは実施されたが、感染症拡大により国外からの教育訪問団との交流は実施されず、グローバルな視点の涵養が充分にはなされなかった。</p> <p>⑥○土曜日を利用した教科横断型授業を高 3 総合コースで実施し、生徒の学習に対する意欲の向上にある程度貢献できた。</p> <p>⑦○各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行っている。</p> <p>⑧○休校となった場合も授業動画の配信を行えるよう、準備を行った。</p> <p>⑨◇授業動画の作製を進め、明誠ライブラリーとしての整備を進めているが、定期的な配信にはつながらなかった。</p> <p>⑩○Wi-fi 環境の全教室整備が行われ、中学生の全教室にプロジェクターの設置が計画された。</p>	<p>A 26%</p> <p>B 61%</p> <p>C 13%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が学年の枠を超えて指導をしている。</li> <li>・技能の定着や考え方の思考力について基準を設け指導されている。</li> <li>・個人としては授業での小テスト、朝学習での模試の過去問演習、課題での模試の過去問演習を行い、演習量を確保した。</li> <li>・英語科の英検指導</li> <li>・ライティング指導</li> <li>・面接、スピーキング指導</li> <li>・論理エンジンの活用・指導とあるが、一年生の国語科で授業で扱われるにすぎず、高校高学年に向けて指導の連続性が無いように思われる。</li> <li>・学力定着のため、文章を書くということに重点を置き授業を行った。</li> <li>・朝学習をもっと活用した方が定着につながると思う。</li> <li>・英数科ではきめ細やかな指導が実施できているが、普通科の授業では実施できていないように感じる。</li> <li>・教科担当職員が複数の業務(部活動や寮監など)を課外で請け負っているため、放課後の補講等が困難である。</li> <li>・朝の読書を学校全体で取り組みたい。</li> <li>・スタディサプリでも勉強動画が見れる状況なのに、教員が授業動画を作成する必要はあるのか疑問に思う。You-tube などでもわかりやすい勉強動画は増えているため、動画作成は教員の負担が増えてしまうのではないかと感じる。</li> <li>・ここ数年の入学生徒の国語力は大きな課題である。国語力向上のために施策が必要である。(論理エンジンの見直しなど)</li> <li>・9 時学は見直しを検討する必要があるのでは。少なくとも数字よりも実際の参加者は少ない。</li> <li>・朝学習をやっているが、朝学習の時間をしっかりと決めて、時間を確保して欲しい。いつもバタバタして中途半端になってしまう。</li> <li>・スタディサプリを導入したのだから、それをうまく活用させるべきでは？</li> <li>・上記の理由からきめこまかな指導が、できない教員がいる。</li> <li>・授業時間割に偏りがあるため、クラスによって進度に違いが生じている。AIの導入は分かるが、調整はしてほしい。</li> <li>・教科会議の中身が入試検討会になっている。授業スキルの共有や現状の授業改善に向けた取り組みをもっと話し合いたい。</li> <li>・定期テストの復習が丁寧に行えなかった。</li> <li>・科・コースや科目などにこだわらない授業の持ち方をしなければいけないと思う。</li> <li>・教科によっては持っている科目や担当する科に偏りがあるので、どのクラスでも科目でも担当できる力を教員自身が持たなければならないし、危機感を持つべきだと感じている。</li> </ul>	<p>A 14%</p> <p>B 86%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②予習・復習・宿題など、担当者によって異なっていた。</li> <li>・③英検への指導は十分やっていた。</li> <li>・④国語力向上については実感がなかった。</li> <li>・⑦入試問題がほとんどで(特に、数学・生物)難しい問題に取り組めた。</li> <li>・⑧授業配信は特になかった。</li> <li>・英検の合格者が目標値に届き、さらなる上を目指し、個々の力を他の教科でも発揮させてほしい。</li> <li>・「9時まで学習」の時間帯で英語や国語、数学の特別補講を実施する等、時間を大切に(有効に)取り組んでおり、これからも続けていたきたい。</li> <li>・英検の実績もすばらしい。生徒の頑張りはもちろんのこと、先生方の(影の)力も大きいと思う。</li> <li>・伝統の「9時まで学習」(、その他の指導もあり)学校以外の塾に通う必要がなく、安心である。</li> <li>・朝の読書の充実をお願いしたい。</li> <li>・Wi-Fi 環境の全教室整備はありがたい。</li> <li>・「9時まで学習」について、先生方は大変だと思う。熱心に指導してくださる姿を見て、本当にありがたいと思う。</li> <li>・英検指導について、2次面接の練習を何度も指導してくださっているが、1 次から生徒全体で取り組む仕組みがあってもよいと思う。</li> <li>・スタディサプリは上手く活用できていないように感じる。</li> <li>・読解力は必須なので、ICT を活用した学習を進めると同時に「読む」「書く」という基本的な部分に重点を置いた授業がより定着するとよいと思う。</li> </ul>
---	---	--	---	--

<p style="text-align: center;">Ⅱ 進路指導の充実</p>	<p style="text-align: center;">進路希望の達成に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る</p> <p>②教員の教科・進路指導の力量向上を図る</p> <p>③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う</p> <p>④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る【現役合格 95%】</p>	<p>①○高校1年生の進路ガイダンスでは、前期は進路課より新入試の概要とそれに対する取り組みについて、後期は外部講師による大学選びについて講演を行い進路意識の高揚に役立てた。</p> <p>○高校3年生対象の大学説明(36大学)、高校2年生対象の学部・学科説明(25学部学科)では、生徒たちが熱心に説明を聞き、進路目標の設定・進路意識の高揚に大きな意義があった。</p> <p>○高校2年生で活用した『志望理由書・マスターノート』は、新入試に対応する教材として今後も活用したい。</p> <p>②×昨年同様、夏季駿台研修には、参加出来なかった。</p> <p>◇経験があり指導力のある教員の指導方法・ノウハウの共有化を図るためにも、各教科で授業研究の回数をより増やしたい。また、『明誠ダイアリー』を活用したPDCAサイクルの確立が、学力伸長と進路実現につながることを職員員の共通認識としたい。</p> <p>③×外部模試後の分析・検証の機会が持てなかった。</p> <p>④○四大志望者の大学現役合格率は97.6%で目標の95%を上回った。また浪人も15名(在籍数の4.6%)で「現役主義の明誠」の目標に近いものとなった。</p>	<p>A 38%</p> <p>B 49%</p> <p>C 9%</p> <p>D 4%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路課長を中心に一丸となって行われている。</li> <li>・普通科でも国公立大学の進学に向けて頑張っている生徒がいる。その生徒たちがあきらめないように、またはその可能性がある生徒をピックアップして上位に向かわせるような啓発を学校全体で行う必要がある。生徒の可能性を伸ばす、チャレンジ精神を持たせることが必要。</li> <li>・夢ナビや外部の人に来ていただき説明会を設けている。</li> <li>・面談資料を独自に作成し、現時点で必要な情報を提供することができた。</li> <li>・9時まで学習や昼休みを利用して指導できた。</li> <li>・小論文指導において、生徒の時間と自分の時間をできるだけ合わせ何回も書く練習を行った。</li> <li>・3年生、担任の先生からの2年生に向けた進路説明会はとても良いと感じた。</li> <li>・ある程度は実施できているが、教員によって熱量の違いがあるように感じる。</li> <li>・個々の教員の進路指導経験の差があることを前提にした上で、指導内容のノウハウを共有できる研修の場が不可欠である。</li> <li>・進路ガイダンスを2年次の始めに行いたい。また、外部講師を招いた講演の充実を願いたい。</li> <li>・指定校頼みの感が否めない。</li> <li>・教員によって指導の差があり、生徒からの不満の声を聞いた。生徒は担任を選ぶことはできないのに、担任によって指導の差があるのはよくないのではと感じた。</li> <li>・高校として3年間の進路指導方針を固めたい(メソッドの構築)。多くの場合が、担任任せになっており、担任の指導力によって生徒のキャリア形成への意識差が大きく異なる。</li> <li>・進路指導に関わる資料が多様な業者から発信されており、一貫性に欠ける。もう少し選定をしても良いのではと感じる。</li> <li>・指定校、スポーツ推薦があるから大丈夫という安易な気持ちを持った生徒が非常に多いように思える。</li> <li>・推薦、総合型選抜に関する研修をしているのは、教員としても非常にいい進路指導になると思う。</li> <li>・教科担当以外でも多くの先生方に小論文や面接指導・生活指導で生徒たちを支えて下さり、非常に感謝しております。</li> <li>・1,2年生のうちから大学調べを積極的に行わせる必要があると思う。大学説明会をより多く実施する方が良いと思う。</li> <li>・合格者一覧の掲示をする際、名前は控えるほうが良い。(特に指定校で合格した生徒は)</li> </ul>	<p>A 14%</p> <p>B 86%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生にかなり細かく対応していただいた。模試の結果を一人ひとり表にまとめて面談を実施されたので、自分が志望校合格に向けて何が足りないかを見つめ直すことができた。</li> <li>・大学入試では各大学が推薦枠を増やしていることもあり、推薦なしで挑むのは厳しくなっている。内進で、クラス(担任)によって推薦を「出す」「出さない」の違いがあるのはいいか？なものか。また、推薦の有無で生徒募集にも影響が出るのではないかと。レベルの高い大学への内進の進学率が高ければ、中学校への入学者も増えるのではないかと。</li> <li>・先生方の情熱的な指導が、必ず、生徒の心に響く(伝わる)と思う。</li> <li>・大学合格ばかりにとらわれず、キャリア教育の充実をお願いしたい。</li> <li>・現役合格達成の取り組みは大変評価できる。</li> <li>・外部講師による指導など、様々な講義・資料などをよく活用していて、工夫されていると思う。</li> <li>・進路についても、普通科・英数科で温度差が生じないような指導で学年全体で生徒の学力が向上できるようになることが理想だと思う。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">難関大学等の合格に向けた指導</p>	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する</p> <p>国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する(学研小論文講座の活用)</p> <p>【第3学年 進路目標】</p> <p>東大・京大・国公立大医学部 →複数合格</p> <p>旧帝大→12名以上</p> <p>国公立大→80名以上</p> <p>(静岡大・静岡県立大・静岡文芸大→40名以上)</p> <p>早・慶・上→10名以上、GMARCH・東京理科・関関同立→80名以上</p> <p>②旧帝プロジェクト(上位層の強化)</p> <p>③共通テスト対策講座</p> <p>※②、③共に「9時まで学習」の時間を活用</p>	<p>①◇年度の国公立大学合格数は、総合型選抜・学校推薦型選抜13名、前期36名、中後期11名で計60名であった。昨年度の71名よりは少ないが、在籍数に対する国公立合格者の割合は18%を越え、ここ数年では2番目に高い割合となった。</p> <p>ただ、東大・京大・医学部合格者がでず、静岡大合格数、難関私大合格数も例年より数は少なかった。主な合格大学(現役) 国公立大学…北海道大1名、東北大1名、名古屋大2名、筑波大2名、千葉大1名、金沢大1名、静岡大4名、静岡県立大13名など 難関私立大学…早稲田大3名、上智大1名、明治大1名、青山学院大2名、中央大7名、法政大4名、東京理科大3名、関西大4名、関西学院大2名、同志社大2名、立命館大10名など</p> <p>②○◇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導は、教科担当個人によるものであったが、ノウハウを継承するためにも、中堅・若手職員も参加しチームでの受験指導体制を構築すべきである。</p>	<p>A 28%</p> <p>B 50%</p> <p>C 16%</p> <p>D 6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科できめ細やかに行われている。</li> <li>・旧帝プロジェクトなど、上位層を伸ばす指導は大いに成功したと思う。継続すべく、全教員挙げてこのプロジェクトに誰でもかかわることのできるよう指導力の向上を目指していかなければならない。</li> <li>・ネットをうまく活用しデータで学ぶ、また先生から直接ご指導を学んでいる。</li> <li>・充実していた。</li> <li>・今年度については3年部中心に素晴らしかったと思います。</li> <li>・生徒の学力低下は明らか。難関大学に向けた啓発による学習意欲向上と教科指導力の向上が望まれる。</li> <li>・まだ塾・予備校に頼ろうとしている生徒がいる限り、我々のできることはあると思われまます。</li> <li>・難関大学の合格者を増やすために、理科や社会の常勤の先生がもう少し増えてほしいです。</li> <li>・まだ個々の教員でばらつきがあるので、一貫性を持たせたい。難関大学に挑戦する魅力を生徒間で下級生にも伝えていくと意識が大きく変わっていくと思う。</li> <li>・難関大学等の合格に向けた指導を直接行っていないが面接などの練習を何回か行った。</li> <li>・学年主体か進路課主体か、はっきりしない。</li> <li>・指導力のある教員に依存している感が強い。</li> <li>・東大・京大等の難関大学を教科・進路指導するノウハウが蓄積されていない。</li> <li>・東大・京大研究会の役割が、今一歩不透明である。</li> <li>・普通科への指導では、全く意識することができなかった。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の情熱的な指導が、必ず、生徒の心に響く(伝わる)と思う。</li> <li>・進路指導について、よりよい情報を提供できるように努力願いたい。</li> <li>・上位層の大学合格実績は先生方の指導の賜物だと思う。しかし、よりよい合格実績を目標にするのなら、なおさら学年全体の学力向上に力を入れていただきたい。</li> </ul>

		④医進プロジェクトで国公立大医・薬等の指導強化	③○各教科とも放課後の個別指導には積極的に取り組んで頂けた。また「9時まで学習」を利用して、国語・数学で定期的に共通テスト対策を意識した講座を実施して頂いた。 ○2月の二次対策講座は、コロナ感染症対策を徹底し、希望制としたが、55名の生徒が参加した。コロナ禍であっても学校に登校して自学習に励む生徒が多かった。				
目 心豊かでさわやかな生徒の育成	社会性や道徳心の育成	①礼節を重視し、様々な場面で、マナーや社会的規範意識を育成する。正門一礼や予鈴黙想の励行なども継続して指導する ②校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導 ③交通マナーの指導を強化し、地域住民の苦情をなくすとともに交通事故防止を図る 【交通事故10件以内】 ④德育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する ⑤生徒の様子を観察、生徒面談、いじめ調査等を活用して、いじめ行為防止に取り組む 【いじめ調査年3回実施、学校生活アンケート年3回実施】 ⑥スマートフォンの使用法などSNSについての啓発を行い、問題発生を防止する ・ネット依存防止対策プログラムの導入 【いじめ調査年3回実施、学校生活アンケート年3回実施】 ⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、人間関係構築、ネット依存防止対策講座）の研修を実施する	①○礼節指導を継続して指導した。挨拶は良好である。 ◇校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。 ②○サッカー部、陸上部、野球部が自主的な清掃活動により、校内や学校周辺の環境美化に貢献した。 ○トイレ清掃・教室内整理整頓・水回りの清掃指導を実施した。 ③○全職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導の実施。 ◇交通マナーについて、地域住民から苦情が時折寄せられた。 ◇【交通事故9件】ここ10年間で初めて10件を切った。ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように日常の指導継続。 自転車施設点検を実施。施設率率は向上したが、継続指導が必要。 ④◇問題行動・3件3名（校長戒告指導以上。） ⑤○いじめアンケート年3回。学校生活アンケート年3回の実施。いじめに関する調査、学校生活アンケートは、いじめの防止、友人関係の改善や生徒指導に活用した。 ⑥スマホ安全・安心講座を実施 ⑦救急救命法の実施。	A 25% B 57% C 15% D 3%	・挨拶は良好。 ・校外でのマナーアップは難しいが、様々な形で呼びかけて啓発したい。 ・生徒指導案件など具体的な事例研修を行い、職員全体の生徒指導スキルの向上を図る必要がある。 ・規律を守ることを徹底させた。 ・学校生活・部活動・寮生活を通じて社会性・人間性の育成を図っている。 ・交通事故の減少が喜ばしい。 ・スマホの回収は、生徒が「持っていない」と主張すれば回収できないため、無理がある。回収せず、授業中などに使用した場合に厳しく指導すれば良いと思う。 ・授業日数が多すぎて、行事やクラス、学校の団結ができる機会が少ない。授業日数にゆとりを持ったスケジュールにすると生徒も疲弊しないと思う。 ・社会常識や道徳を定着させる取り組みが必要。そのために、まずは職員のマナーの向上が必須。 ・英数科にも普通科にも一定数、道徳心の欠いた言動をする志の低い生徒がいる。 ・手をポケットに入れたまま挨拶をしたり、受け答えが幼いなど、教員と生徒の間での緊張感が無さすぎる。 ・誰にでも挨拶ができる生徒がほとんどだが、人を見て挨拶している生徒もいるため指導が必要と感じる。 ・スマホの回収を行うのであれば徹底してほしい。クラスによって差があるのはおかしい。 ・年々だらしくなっている印象。教員間で指導基準があまりにも違いすぎる(指導をしない教員が多すぎる。)ことが非常に問題だと感じている。 ・スマートフォンを持ち込み可にしたことは大失敗だと思う。	A 14% B 72% C 14% D 0%	・クラスによっては、かなり賑やかで注意されることが多く、集中しにくい。担当の先生はしっかり指導して下さるものの守らない生徒が多い。 ・いじめのことは一切聞かない。学校がしっかり対応してくれている。 ・スマホの対応がクラスによって違った。また、ダミーのスマホを提出している生徒がいた。 ・あいさつ、身だしなみは良好である。 ・他校の生徒で「歩きスマホ」をよく見かける。危険だから、明誠でも要注意である。 ・Aの評価をした先生もいるが、(あきらめたような、責任を他に転化したような)コメントや指導結果について、意識が低すぎはしないか。 ・スマホ回収について、学校側、先生間の統一した指導が必要ではないか。 ・高校生らしい生徒が多いと思う。しかし、道徳について学ぶ機会が少ないように感じる。学力も大切だが、人としても成長できるような指導にもっと力を入れていただきたい。
		基本的 生活 習慣 の 確 立	①欠席や遅刻等の減少を図る。 ②正しい身だしなみの指導を徹底する 【学年全体風紀指導年6回実施】 ③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を徹底する ④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する ⑤校則の遵守 ⑥新型コロナウイルス感染症対策の実施	①○各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換気等を徹底させた。 ②○学年校風指導を学年団の意思統一のもとで6回実施した。服装面で大きな乱れもない。 ○【学年全体校風指導年6回実施】 ③○基本的な生活態度はある程度確立されていた。体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。 ○乙女塾の実施等、女子指導は充実してきた。 ◇さらに職員の指導の共通性を図りたい。 ④遅刻等の減少には至らなかった。 ⑤○生徒は校則をおおむね遵守していた。	A 29% B 56% C 12%	・服装は良好。校則についても、おおむね遵守されている。・規律を守ることを徹底させた。 ・名札の着用や時間を守ることを徹底して指導できた。 ・さらに支持される学校になるためには、時代に合わせて校則や行事の見直しをしないと良いと思う。例えば、早朝の寒稽古は、生徒の学習面や健康面に悪影響を与えている可能性がある。時間帯の変更などを検討した方が良いと思う。 ・校風検査について改めて検討する必要がある。多種多様な生徒がおり、場合によっては差別的な指導になる可能性が。 ・不注意遅刻に対する指導が徹底されていない。 ・スマートフォンの使い方によって生活習慣が左右されないようにしていきたい。 ・生活習慣の乱れから、遅刻や欠席を繰り返す生徒がいる。 ・不登校や学力低下が著しい。	A 14% B 86% C 0%

		<p>・マスクの着用(着脱は状況による)・手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る</p>	<p>⑥○各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換気等を徹底させた。 マスクの着用は習慣化された。</p>	<p>D 3 %</p> <p>・女子のメイクについて男性教員も共通認識を持って指導した方がいいと感じる。校則でメイクは禁止されているが、明らかにメイクしている生徒が指導されていない状況。指導しないのであれば校則を変える必要があると思う。 ・学習習慣の確立をしっかりとさせたい。宿題に取り組まない生徒、復習をしない生徒、暗記ばかりで試験を乗り越えようとする生徒、主体的に学ぶ姿勢が欲しい。 ・当たり前のことができていないことが多い。中学校からの指導にも問題があるかもしれないが、高校生としてのマナー、身だしなみ、振る舞いをしっかりと指導すべき。 ・年々だらしなくなっている印象。教員間で指導基準があまりにも違いすぎる(指導をしない教員が多すぎる。)ことが非常に問題だと感じている。 ・高校1年女子を見ていると何も指導がされていないことがよくわかる。まつ毛や化粧など自由にさせすぎている。こういったところから学校の信頼はくずれているのではないだろうか。近隣の程度の低い学校と大して変わらない。</p>	<p>D 0 %</p> <p>・(指導し切るという気持ちはどうなっているのか、学校行事の歴史や目的の理解をされていないのか)、指導者としてどうなのかと思ってしまうような意識が低いようなコメント(意見)があり、残念である。 ・校風検査について「ルールを守る」という点では生徒に厳しく指導することは大切だと思うが、その校風が時代にそぐわない、または、その理由が明確でない(明確に伝わっていない)ように思える。</p>
	部活動の充実	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす 【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】</p>	<p>①○多くの生徒が部活動に加入している。 ○【部活動加入率約 80%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発であった。 ○各部とも積極的な活動が行われた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組ができるようになってきた。 ◇登下校時の服装、早朝時の自転車走行(併進、右側走行、一時停止)について指導、早朝時の登校服装注意。 ②○チアリーディング部の全国大会1位の活躍。野球部の春季県大会優勝、県選手権でのバスケットボール部、サッカー部のベスト4、陸上競技部 5000W でのインターハイ出場。射撃同好会の全国大会出場、また多くの部が県大会に進出する活躍を見せた。文化部でも棋道部が個人で全国大会出場、書道部が富士山学生書写書道展で奨励賞、また、吹奏楽部の活躍もあった。 ○【県大会出場:ほとんどの部、東海地区大会:5部、全国大会出場:4部】</p>	<p>A 58 %</p> <p>B 37 %</p> <p>C 1 %</p> <p>D 4 %</p> <p>・バスケットボール部・陸上部・チアリーディング部と全国に出場して活躍した。サッカー部もプリンスリーグで活躍した。 ・部活動が人間形成に反映されている。 ・自分自身また一から学び直しました。 ・自己の足りないところ、何を伸ばしていくのか常に自己にフォーカスを当てて部活動に取り組んでいる。 ・各部活動の目覚ましい活躍がお互いの部活にいい刺激を与えていた。 ・精力的な取り組みが見られた。 ・運動部の活躍はめざましい。 ・運動部の活躍は学校を盛り上げてくれるのでいいと思う。文化部ももっと活発になればいいと思う。 ・女子が入部できる部活動もいくつかあるのに、なぜ乙女塾という女子だけを集めて行くものが存在しているのか不思議である。また、女子限定にする理由もわからないし、なぜ女子だけに求められるのかもわからない。さらに「乙女」という言葉を未だに使い続け、生物学的に「女子」のみを集めて活動することは時代と逆行している。現代は性別にわけて活動するということは嫌われている風潮にあり、授業でもないのに強制してこのまま行い続ける必要はない。人数が少ないにもかかわらず、講師に払う謝礼は結構な金額になると考えられるため、そのお金は男子、女子関わらず「生徒」全体に還元するべきではないか。「乙女塾」という時代に逆行したものを存続する意味がわからないが、存続するのであれば、男子・女子関係なく入部できる同好会または部活動を立ち上げたらどうか。「乙女塾」の効果は見られないし、正直講師代の無駄である。 ・もっと学校全体で部活動に励む生徒や先生への理解を深め、応援していきたい。そういった雰囲気によって生徒自身も部活動だけでなく、学習や生活にも真摯に取り組めるようになってきている。</p>	<p>A 86 %</p> <p>B 14 %</p> <p>C 0 %</p> <p>D 0 %</p> <p>・運動部の活躍は本当に素晴らしい。 ・生徒の活躍で明誠の名前が広く知れ渡り、広報的な役割の大きさをとても感じる。 ・同感できるコメントもあり、さらに頑張っていたきたい。 ・それぞれの部活動で活躍している生徒が多く、すばらしいと思う。 ・乙女塾について、よくわからないが、乙女塾そのもののあり方ではなく、教員の考え方ははないのか。ジェンダーの問題について、このコメントが果たして正しいのか。 ・「乙女塾」について、呼び名からしてジェンダーレスの観点からも時代に反していると思う。また、普通科のみの女子だけというのも理由が明確ではないように思う。</p>
広報・渉外活動の充実	効果的な広報活動による学校理解の促進	<p>①広報誌の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める ②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う。 【年間アクセス数 800,000 アクセス】</p> <p>③学校説明会参加者を増やす情報を提供する。 ④本校理解がより深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う ⑤地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る</p>	<p>①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。 ○部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。 ○保護者会地区会で出された質問や要望への回答を文書で配布した。 ②○HPのアクセス数が大幅に増えた。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行いたい。 ○2021年4月1日～2022年3月31日のアクセス数 627,416。 ③○学校説明会への参加者数(1日体験入学、直前相談会を除く)を大幅に増やすことができた。 H2・683人 H3・1,155人 472人の増。 ④◇見直しは行ったが、十分とは言えない。 ⑤○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A 38 %</p> <p>B 52 %</p> <p>C 7 %</p> <p>D 3 %</p> <p>・見やすくてきれいになった。 ・学校説明会への参加者増加が大きい。 ・積極的に学校訪問をしたり説明会をしたりしているのが定員充足につながっていると思う。 ・学校で行われる学校説明会は当番制などにして持ち回りでやるべきでないかと思う。一部の先生方が多く参加している気がします。 ・年に数回中学校の訪問に行っているが、その数回で中学校側と信頼関係が気づけているか疑問である。 ・ホームページの日常的な更新が必要。特に部活動結果や学校行事の様子といった内容がなかなかアップされない。説明会や高校受験などの情報は十分だが、生徒の活動の様子が見えてこないアクセス数は減る一方だと思う。</p>	<p>A 0 %</p> <p>B 100 %</p> <p>C 0 %</p> <p>D 0 %</p> <p>・広報誌の発行、HR等で学校のことがより分かりやすく、広範囲に理解され、良い結果ではないか。 ・先生、生徒の一人ひとりが広報活動そのものであると思う。 ・大変な苦勞をされており、感謝申し上げたい。 ・渉外活動の充実が学校経営の基本だと思う。 ・地域の人達から理解をいただいている学校だと思う。 ・ホームページはとてもシンプルで見やすいかと思う。しかし、更新が少なく、アクセスしても変わりが少ないことが多い。学校の行事や様々なことを掲載したら、より活気のあるホームページになるのではないかと思う。</p>

	<p><b>積極的な渉外活動の実践</b></p>	<p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的に速やかに実施する</p> <p>②焼津・藤枝・島田・榛原・小笠・袋井の各地域の訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集活動を展開する。</p> <p>③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る</p> <p>④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努め、入試内容・方法について見直す。</p> <p>⑤「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る。</p> <p><b>【学則定員の確保】</b></p>	<p>①〇年間の生徒・保護者の総動員数は4,315人となり、昨年度より632人増加した。</p> <p>②〇志太、榛原地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、通学費補助の対象となる静岡、小笠、袋井地区では重点校を絞り募集活動を行った、さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>③〇副校長が学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>④◇福岡奨学生入試オープンでは、単願合格者はいなかった。学習特待生の入学につながるような方策を検討する必要がある。札幌奨学生入試は、受験者が1人、合格者1人。札幌一般入試は、受験者が4人であった。</p> <p>⑤1日体験入学の参加者は2,558人で昨年度より177人減少した。また、入試直前相談会の延べ参加者数は602人で昨年度より282人と大幅に増加した。</p>	<p>A 41% B 50% C 6% D 3%</p>	<p>・積極的な渉外活動を行いました。</p> <p>・実施はされているが効果の検証が必要な部分が多くあると思う。</p> <p>・渉外活動のために授業ができない(自習にせざるを得ない)というのは本末転倒である。</p> <p>・渉外課以外の先生方の説明会への動員がより必要。一部の先生方のみ毎回参加しており、学校全体の渉外活動とは言い難いと感じている。</p> <p>・手法としてもっと様々な媒体を利用し広報活動をするべき。(例:You-tubeチャンネル開設など)</p>	<p>A 0% B 86% C 14% D 0%</p>	<p>・県内の他の私立高に比べると広告などをほとんど見ない。やればよいというわけでもない。必ずしも必要とは限らないが、You-tube や SNS を使用してもいいのではないかな。</p> <p>・渉外活動のために「生徒の自習」は考えさせられます。授業の入れ替え(授業交換)をしつかりしてから、だと思ふ。</p> <p>・SNS の活用、ホームページの充実。できれば、明誠卒業生でホームページ制作会社を経営されている人がいたらいいと思う。</p> <p>・対面での活動も大切だと思うが、様々な手段での活動があってもいいかと思う。</p>
<p><b>△ 教育施設・設備の活用</b></p>	<p><b>安全で快適な教育環境の実現</b></p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する。トイレ・水場の清掃活動の徹底。教室・廊下のポリッシャー清掃の推進。</p> <p>②清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また事後の点検を行う。</p> <p>③破損箇所の把握と迅速な修繕を図る</p> <p><b>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</b></p> <p>④電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける</p> <p>⑤消灯、戸締まりの徹底を図る</p> <p>・トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う</p> <p>・不備のあった施設の管理担当に報告することに加え月単位で集計し全体に報告することで施錠管理の徹底を図る</p> <p>⑥地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を実施し、生徒の安全を確保する</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染予防対策として全職員で分担して毎日消毒作業を実施する</p> <p>⑧原子力災害に対する避難計画を作成する</p>	<p>①〇毎水曜日早朝に理事長点検を実施し施設の安全を確保した。清掃活動に力を入れた。水場・トイレ・階段の清掃状況は安定している。テスト期間の簡単な清掃がおろそかになっている。</p> <p>②清掃監督者と協力を図りながら清掃指導はできているが、事後の点検に改善の余地があった。</p> <p>③破損箇所の報告と修繕は迅速に行われている。</p> <p>④消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、夏場を除けば改善されている。職員への配布物に関しては掲示板が有効に活用されている。今後は家庭への配布物を減らす努力が必要である。</p> <p>⑤全体的に未施錠件数は減少している。部室や活動場所の未施錠についてはその都度顧問に報告し改善を図っているが今一步徹底できない。トレーニングルームの施錠状況は改善した。</p> <p>⑥5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施した。</p> <p>⑦放課後等、教員による消毒箇所を決め、できる限りの消毒作業を実施している</p> <p>⑧〇防災マニュアルを常時活用できるように生徒手帳に添付にした。</p> <p>◇原子力災害に対する避難計画は未作成であった。(藤枝市の指針が未発表のため)</p>	<p>A 21% B 56% C 22% D 1%</p>	<p>・清掃活動はテスト期間を除けば安定している。その他としては日頃から生徒を積極的に動かす指導が必要。</p> <p>・施錠管理についても、未施錠件数は減少している。また侵入を許す致命的な未施錠はない。</p> <p>・資源の節約という点では家庭への配布物も減らしている。さらに減らせるところは減らしていきたい。</p> <p>・清掃活動を常に行っており、快適な教育環境を継続している。</p> <p>・空調設備の修理が遅かったので、今後はより迅速に対応していただきたい。</p> <p>・グラウンドネットが破けている。ボールが外に出してしまう。</p> <p>・職員による使用教室の鍵の管理が、不十分である。「(使用したら、元の場所に返却する)意識が薄い」</p> <p>・清掃活動で甘い部分はまだある。</p> <p>・1階来賓用女子トイレの洋式トイレを増やしてほしい。</p> <p>・エアコンの整備を急ぎたい。</p> <p>・図書室、職員室系統の空調を早く直さなければならない。来年度の9時まで学習の環境に影響が出ることが危惧される。</p> <p>・3F 理科室、家庭科室など授業に使用する教室に、冷房を付けてもらいたい。</p> <p>特に3F 理科室は、夏には、普段の授業だけでなく、1日体験入学、理科体験学習会にも、熱中症の危険があり、使用できない。"</p> <p>・プロジェクターは設置されたが、インターネット環境は快適とは言えない。生徒が教室の Wi-Fi を使えないのはいかがなものか。</p> <p>・空調設備に不備があり、生徒にとって快適とは言えない。</p> <p>・空調の使用ができないことによる体調不良者が増えたと感じる。早急に改善してほしい。</p> <p>・新館の窓にある塀が低いので、背の高い最近の生徒には落ちてしまう危険性がある。</p> <p>・校舎の古さをどうにかして欲しい。窓や廊下、教室にいろいろとガタがきている。その場その場だけの修繕だけではなく、大幅な改善をして欲しい。</p> <p>・モンスターペアレントのような保護者に対して、学年主任が一手に背負っているので、学年主任の先生方の心労が伺える。教員をもっと守って欲しいと思う。</p> <p>・設備が古い。</p>	<p>A 0% B 86% C 14% D 0%</p>	<p>・修繕が必要な箇所が多い。体育館の階段は雨天時には滑って危ない。</p> <p>・節約の意識だけは、いつも心がけていただきたい。</p> <p>・防災について。年々災害も強烈で、危険度も高くなり、防災訓練はもとより、緊急時の用心だけは万全にしておいてほしい。</p> <p>・創立40周年を過ぎ、古くなってきた部分を少しずつ改善できたらいいと思うが、その前に、今の「状態」をもっと大切に感謝の気持ちを忘れず、活用してほしい。</p> <p>・空調設備の不備があれば改善をお願いしたい。</p> <p>・エアコンの整備を進めていただき、ありがたい。未済の教室についても引き続きお願いしたい。</p> <p>・(コメントの)モンスターペアレントとは具体的にどのようなものなのか。学年主任の負担が大きいのであれば、保護者会を含めた対応をお願いしたい。</p> <p>・清掃指導については先生方が指導に力を入れてくださっているようだが、そういったことも含めて道徳指導により力を入れていただけると生徒の今後のためになると思う。</p>